



批評 歌會詠草評 (三)

島田忠夫

○只管に思念湧かして道行くよと見に沁みて寒き風吹く
甘井 清澄氏

依然として、解し難い歌である。「思念湧かして」などが、困る語である。生硬で、嫌味を伴ふ。そのへんから整理してかゝる可きである。

○磯山の松にひびくかき音の夕さくらればさむきさむきさむき
渡邊 何馬氏

この歌、難くない。こゝで、渡邊氏の俳句と歌が並行したと見られるかも知れぬ。但し、やや平板である。作者には、それを氣付かれてゐるであらうと思ふ。

○庭に並ぶくぬ木を通し見る野邊は去年わが訪ひし武蔵野に似る
木兔莊 主人

○山を負ひ海を近みか温泉の室に照る陽さん
○初冬とあらす
○朝餉あめ温泉宿のほとり坐ろ行きてあざみ刈
○久に深みし湯の槽に人去りてねもころに妻とからだ洗ひぬ
○暮れ近き今日始めてを旅の夜にうつろひ待つる業はひそし
○浴かあどのつれづれにと宿の庭に猿小鳥など鳴はよしも
○見放れば玉川原野蒼蒼とこころ小名の濱邊に波の光れる

小瀧源泉にて

木兔莊 主人

○冬晴れのうすらつめたき空に觸れ冬木の梢光りそめたり
岡部 夜推氏

幼稚な歌です。しかし、素直がいい。斯う素直に事象を見る眼を養つて行けば本當の歌が作れる。

次ぎは「顔」の歌に入ら

干支論 (四)

鷓沼孝昌

己は紀(スズ)を其の語に形造られたるの長き度つちの、かのえ、かのの、と五行によつて、相生相克の作用をなして種々に變をかくしてゐる。怪しいと察してゐる。お前達三人は思ふより前に何だか夢のやうな氣持になつたさうだ。眼だけしか見ないが、若し美しい女、その時の話の模様がどんなだつたか、そなたはわづらひないけれど、そなたは色仕掛で矢鳥は度になつてしまつたらしい……

子かな 松堂
朝露のひかりうすく冬に入る 素風
小戀女房 鹿島 英作
まづ落して おはぐら染めて 私しやお前の 戀女房

月夜

珠雲 小野務平

避塵節履訪浮屠 落木蕭條山骨嶺 滿地如霜林樹白 一天寥廓月輪孤

日一△水戸門門去(元) 二△西印度到着(一) 三△西印度到着(一) 四△西印度到着(一) 五△西印度到着(一) 六△西印度到着(一) 七△西印度到着(一) 八△西印度到着(一) 九△西印度到着(一) 十△西印度到着(一)

あちこちで、忘年會の話のぼつたり、酒友の往來頻繁になるものだから

黄金魔刃

高桑義生作 樋口祝也書

たゞで共謀者ではない。口を開かない物を食はない矢鳥は勿論白状した。それ病人だといふが、これは疑は不思議な女だといふ。不ばしい。とどこでお前とそ



「思に答る。きつと御恩返しはするから」「いけいなよ」「錦織は、この男特有の聲のなない皮肉な笑ひを見せた」「眼目かなあ」「それをでなくとも、うろ破りをする位の前で、自分が先に逃げた、そのどくろの間に、その男は悠々と、オランダわたり珍物に脱出した」

「それでは何者がお前に左人、面白い事だと思ふよ。あの時見知りやうな江津浪人者はこの月はじめに戸の男だ。二人ともお前達つたオランダ船に搭せ込まのには、矢鳥はたゞ取次いだ。しかし、どうして

「思に答る。きつと御恩返しはするから」「いけいなよ」「錦織は、この男特有の聲のなない皮肉な笑ひを見せた」「眼目かなあ」「それをでなくとも、うろ破りをする位の前で、自分が先に逃げた、そのどくろの間に、その男は悠々と、オランダわたり珍物に脱出した」

「それでは何者がお前に左人、面白い事だと思ふよ。あの時見知りやうな江津浪人者はこの月はじめに戸の男だ。二人ともお前達つたオランダ船に搭せ込まのには、矢鳥はたゞ取次いだ。しかし、どうして

室内改造して 石川の食堂 開始致しました

何卒御愛顧の程を……

食卓献立……

牛なべ 御一人前 三十錢
御飯 新香つき 十錢
上酒 一本 三十錢
特製石川の牛井 二十錢

外御好みに依り調整仕度
女中御心付け御膳送致……

ドーゾ氣分の良い食堂で御手軽に御家族同伴の上御試食下さいませ……

忘年会、新年會、會合は特に御相談に應じます。

平。田町
割烹 御料理 石川亭
電話四三番

祝七五三

御寫し遊ばせ
お子様方の
可愛い御姿を
御寫眞に!

当日は御祝として
焼増壹枚御
進呈いたします

平町寫眞師組合

組合員名(いろは順)
林 寫眞館
戸田 寫眞館
大野 寫眞館
太田 寫眞館
中島 寫眞館
青木 寫眞館
アサヒ 寫眞館
齊藤 寫眞館
サクラ 寫眞館
三光 寫眞館

調整の皮膚

ルメフト

丹毒 胎毒
水虫 やけど

平町寫眞師組合

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田 久雄

旅行には!!

素晴らしい乗心地の!!
三五年式流線型新車を!!
是非御利用御用命の程を御願申します。

三井タクシー
電話六八五番

勉強ノ店 (良クテ安イ)
建築美品
床柱、天井板、ベニア板
新入荷品、秋田杉四分板、
山川印優品建築材
平町紺屋町
内外 銘木
建築材一式
便利瓦、木羽
余織田材木商店
電話平四六〇番

福祿ストロブ福引

景品付大賣出し

景品總額五萬圓

期間 昭和十年 九月廿五日ヨリ
十二月二十日マデ

買出 規定……

福引券 ストロボ御買上ノ方ニ左ノ割合ニテ進呈致シマス。

フクロクストーブ一號 大衆中型(賣大) 各一本二付一
フクロクストーブ二號 各一本二付一
フクロクストーブ三號 各一本二付三
フクロクストーブ四號 各一本二付四
抽籤表 昭和十一年二月十一日東京朝日新聞ニ
發表致シマス。

景品引換 昭和十一年二月十五日ヨリ 四月十五日
迄福引券引換ニ最寄ノ代理店ニテ景品引換
致シマス。

景品
一等 福引券一十枚ヲ以テ一組トシ
二等 福引券一十枚ヲ以テ一組トシ
三等 福引券一十枚ヲ以テ一組トシ

景品引換ノ方ヘ左ノ景品ヲ差上ル
一等 福引券一十枚 四等 福引券一十枚
二等 福引券一十枚 五等 福引券一十枚
三等 福引券一十枚 六等 福引券一十枚

福引券引換代理店
平町五丁目
釜屋商店
阿部石炭商店

西村屋藥舖

藥劑士 鈴木 堅助
電話 三番
振替 東京六・二九九
仙臺一・二〇一

フタバ商會

平。新川町。橋

